



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 株式会社 ピエトロ

上場取引所 東

コード番号 2818 URL <http://www.pietro.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 村田 邦彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長

(氏名) 池田 邦雄

TEL 092-724-4927

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	7,363	△0.9	479	13.6	474	15.4	251	24.0
25年3月期第3四半期	7,426	△12.3	422	9.3	411	5.5	203	17.2

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 255百万円 (26.9%) 25年3月期第3四半期 201百万円 (20.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	45.01	—
25年3月期第3四半期	36.32	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	7,621	3,407	44.7	609.51
25年3月期	7,444	3,253	43.7	581.84

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 3,407百万円 25年3月期 3,253百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	19.00	19.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	13.9	550	15.6	530	14.1	260	18.4	46.50

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	5,591,630 株	25年3月期	5,591,630 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	497 株	25年3月期	497 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	5,591,133 株	25年3月期3Q	5,589,671 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中であり、

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出企業を中心に企業の業績が改善するとともに、雇用・所得環境の持ち直しにより個人消費も緩やかに回復する状況で推移いたしました。

食品業界及び外食業界におきましては、一部で高価格帯商品を求める動きもあるものの、消費者の節約志向や低価格志向は依然として続いており、先行き不透明な環境にあります。

このような状況のもと、当社グループは、「おいしさと健康」を追求した高付加価値商品のご提供をとおして、さらなるブランド価値向上に努めております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、食品事業が増収となった一方、通信販売事業及びレストラン事業の減収により、73億63百万円（前年同期比0.9%減）となりました。

利益面では、食品事業の売上増に伴う増益とコスト管理の強化等により、営業利益は4億79百万円（前年同期比13.6%増）、経常利益は4億74百万円（前年同期比15.4%増）、四半期純利益は2億51百万円（前年同期比24.0%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①食品事業

ブランド戦略のもと、お客様のニーズに応えるきめ細かな営業活動を展開したことから、主力ドレッシングであるオレンジキャップとカロリーを抑えたグリーンが順調に売り上げを伸ばしました。また、生タイプのドレッシングの特徴を生かした、「オリーブオイル」シリーズも好調に推移いたしました。平成25年9月には、たまねぎの美味しさをさらに加えた「生搾り」シリーズを新たに投入し、売上拡大を図っております。利益面では、ドレッシングアイテムを中心とした増収効果により増益となりました。

以上の結果、売上高は49億90百万円（前年同期比8.2%増）、セグメント利益は16億3百万円（前年同期比6.1%増）となりました。

#### ②通信販売事業

通信販売限定商品として、パスタソース、スープ、フローズンヨーグルト、ピザなどの新商品を投入し、品揃えの充実を図ったことなどから、夏のギフト商品が好調に推移いたしました。また、ダイレクトメール等による効果的な販促活動を実施し、購入頻度の増加に努めましたが、取扱商品の変更等があったことから減収となりました。

以上の結果、売上高は1億98百万円（前年同期比66.7%減）、セグメント損失は18百万円（前年同期は14百万円のセグメント利益）となりました。

#### ③レストラン事業

「冷製パスタフェア」や「カルボナーラフェア」をはじめ、旬の食材を取り入れた季節ごとのフェアを実施するとともに、平成25年12月にはグランドメニューを刷新し、31種類の新メニューを加えました。特に、オリジナルの生パスタを使用した「プレミアム スープ生パスタ」につきましては、高級食材を使用した新しいスタイルのメニューとして提供しております。また、「ピエトロクラブ」会員様向けの販促を実施して、集客力の向上を図ってまいりました。

以上の結果、売上高につきましては、既存店が前年を上回ったものの店舗数の減少により、20億58百万円（前年同期比2.2%減）、セグメント損失は1百万円（前年同期は22百万円のセグメント利益）となりました。

#### ④その他（本社ビル等の賃貸）事業

その他（本社ビル等の賃貸）事業におきましては、ほぼ計画通りに推移し、売上高は1億15百万円（前年同期比1.4%増）、セグメント利益は58百万円（前年同期比4.5%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1億77百万円増加し、76億21百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が1億18百万円増加したことなどによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ22百万円増加し、42億13百万円となりました。これは役員退職慰労引当金が63百万円増加する一方、未払法人税等が27百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億54百万円増加し、34億7百万円となりました。これは前期決算の剰余金の配当1億円及び四半期純利益2億51百万円の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、円安や原油高による物価への影響や消費税率アップによる消費マインドへの影響など、予断を許さない状況が続くものと思われま

当社グループは、「おいしいものづくり」とおして、ピエトロブランドの認知度向上とお客様満足度のさらなる向上に努めてまいります。

なお、平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月15日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,119,667	1,016,439
預け金	62,883	57,251
受取手形及び売掛金	1,209,894	1,327,952
商品及び製品	93,205	85,653
仕掛品	3,424	2,795
原材料及び貯蔵品	114,127	136,645
繰延税金資産	35,313	21,685
その他	107,669	148,866
貸倒引当金	△445	△745
流動資産合計	2,745,739	2,796,544
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,557,792	1,462,648
土地	2,006,202	2,006,202
その他（純額）	201,174	203,576
有形固定資産合計	3,765,168	3,672,427
無形固定資産	18,004	57,914
投資その他の資産		
長期預金	—	115,000
敷金及び保証金	459,688	445,827
その他	477,795	553,412
貸倒引当金	△22,135	△19,458
投資その他の資産合計	915,348	1,094,782
固定資産合計	4,698,522	4,825,125
資産合計	7,444,262	7,621,669
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	527,403	538,240
短期借入金	1,250,000	1,250,000
1年内返済予定の長期借入金	323,220	131,320
未払金	486,117	472,305
未払法人税等	169,143	142,113
賞与引当金	46,764	25,362
資産除去債務	2,151	2,184
その他	218,926	248,809
流動負債合計	3,023,726	2,810,336
固定負債		
長期借入金	392,871	573,506
退職給付引当金	62,812	58,750
役員退職慰労引当金	495,359	558,420
資産除去債務	46,475	47,142
その他	169,843	165,644
固定負債合計	1,167,362	1,403,464
負債合計	4,191,088	4,213,800

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	474,400	474,400
資本剰余金	516,922	516,922
利益剰余金	2,252,024	2,403,061
自己株式	△449	△449
株主資本合計	3,242,897	3,393,933
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,116	16,120
為替換算調整勘定	△1,845	△2,186
その他の包括利益累計額合計	10,270	13,934
少数株主持分	5	—
純資産合計	3,253,173	3,407,868
負債純資産合計	7,444,262	7,621,669

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	7,426,938	7,363,311
売上原価	3,146,889	3,050,051
売上総利益	4,280,049	4,313,260
販売費及び一般管理費	3,857,785	3,833,709
営業利益	422,263	479,550
営業外収益		
受取利息	108	122
受取配当金	810	783
為替差益	2,328	6,868
貸倒引当金戻入額	275	—
その他	1,810	2,033
営業外収益合計	5,332	9,808
営業外費用		
支払利息	11,712	9,984
シンジケートローン手数料	4,614	4,758
その他	127	98
営業外費用合計	16,454	14,841
経常利益	411,141	474,517
特別利益		
固定資産売却益	—	4,983
負ののれん発生益	1,699	—
特別利益合計	1,699	4,983
特別損失		
固定資産除却損	1,308	3,022
減損損失	1,727	44,051
投資有価証券評価損	6,337	—
特別損失合計	9,373	47,073
税金等調整前四半期純利益	403,467	432,427
法人税、住民税及び事業税	129,647	215,118
法人税等調整額	74,600	△34,362
法人税等合計	204,247	180,756
少数株主損益調整前四半期純利益	199,219	251,670
少数株主損失(△)	△3,781	△6
四半期純利益	203,001	251,676

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	199,219	251,670
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,762	4,004
為替換算調整勘定	205	△339
その他の包括利益合計	1,967	3,665
四半期包括利益	201,187	255,335
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	204,907	255,340
少数株主に係る四半期包括利益	△3,720	△5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	通信販売 事業	レストラン 事業	その他 (本社ビル等 の賃貸) 事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	4,613,349	595,261	2,104,360	113,967	7,426,938	—	7,426,938
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	1,462	1,462	△1,462	—
計	4,613,349	595,261	2,104,360	115,429	7,428,400	△1,462	7,426,938
セグメント利益	1,510,507	14,644	22,585	55,963	1,603,701	△1,181,437	422,263

(注) 1 セグメント利益の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は1,181,437千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 前連結会計年度にて日清オイリオグループ(株)との生産管理契約を解消しているため、同事業セグメントを廃止しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	通信販売 事業	レストラン 事業	その他 (本社ビル等 の賃貸) 事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	4,990,569	198,325	2,058,899	115,517	7,363,311	—	7,363,311
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	1,462	1,462	△1,462	—
計	4,990,569	198,325	2,058,899	116,979	7,364,773	△1,462	7,363,311
セグメント利益 又は損失(△)	1,603,275	△18,928	△1,636	58,495	1,641,205	△1,161,654	479,550

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は1,161,654千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては44,051千円であります。